

美馬牛小学校の沿革

明治	43年	4月	岩本農場の一部に美瑛小学校付属特別教授所として開設
	44年	4月	美馬牛教育所と改称
大正	6年	4月	美馬牛尋常小学校と改称
昭和	16年	4月	美馬牛国民学校と改称
	22年	4月	美瑛町立美馬牛小学校と改称
	31年	11月	旧美馬牛小学校を新築（教室6、職員室その他）
	32年	4月	旧美馬牛小学校と新星小学校が統合し、美馬牛小学校として発足
	38年	11月	校旗・校歌制定
	41年	11月	開校10周年記念式典挙行
	46年	7月	美馬牛地区学校プール開設
	49年	4月	4学級編制となる 子ども郵便局全国表彰（郵政大臣賞）
	51年	11月	国有地を町有地に移管、開校20周年記念式典挙行、3学級編制となる
	52年	9月	アスレチック施設・すずらん園・テニスコート2面完成
	53年	4月	4学級編制となる
	58年	5月	新すずらん園造成
	59年	12月	新校舎落成、愛の鐘設置
	61年	11月	開校30周年記念式典挙行、公開研究会開催、子供像・石碑設置、前庭舗装
	62年	4月	5学級編制となる、アスレチック内に滑り台・シーソー設置
	63年	4月	4学級編制となる、北海道まちづくり百選に選定される
平成	元年	4月	5学級編制となる、公開研究会開催、校舎裏側に芝生造成
	2年	4月	二股小閉校により統合、6学級編制 『わんぱくランド』造成開始
	3年	10月	道北地区放送教育研究大会会場校
	4年	4月	『わんぱくランド』植樹（約60本）、シンボルタワー設置
	5年	9月	グラウンド全面改修及び物置新築
	5年	10月	平成5・6年度上川教育局・美瑛町教委研究実践指定研究実践発表会開催
	6年	10月	平成5・6年度上川教育局・美瑛町教育委員会研究実践指定研究実践発表会開催（道北地区放送教育研究大会会場校）
	7年	5月	『わんぱくランド』暗渠設置
	8年	10月	平成8年度町教育研究発表大会会場校として全担任公開授業
	9年	4月	特色ある学校づくり指定、4学級編制
	10年	4月	特色ある学校づくり指定、3学級編制
	11年	4月	5学級編制（特学1学級設置）
	13年	4月	4学級編制（特学1 児童数26名）
		9月	上川へき地複式教育研究大会の会場校として授業公開
	14年	4月	5学級編制（特学1 児童数31名）
	15年	4月	5学級編制（特学1 児童数41名）、美瑛町立西美小学校閉校により統合
	16年	4月	5学級編制（特学1 児童数48名）
	18年	4月	6学級編制（特支1 児童数51名）
		12月	開校50周年記念式典
	19年	4月	7学級編制（特支① 児童数55名）
	21年	4月	6学級編制（特支②～知的・情緒、複式② 児童数55名）
	22年	4月	6学級編制（特支①～情緒、複式① 児童数54名）
	23年	4月	7学級編制（特支②～言語・情緒、複式① 児童数55名）
		9月	P T A製作による新アスレチック遊具（にこまる）完成
	24年	2月	全国交通安全教育表彰（財団法人 全日本交通安全協会）
		4月	7学級編制（特支③～弱視・情緒・言語、複式② 児童数49名）
	25年	4月	8学級編制（特支④～知的・弱視・情緒・言語、複式② 児童数46名）
		10月	上川へき地複式教育中部地区研究大会の会場校として授業公開
	26年	4月	8学級編制（特支④～知的・弱視・情緒・言語、複式② 児童数41名）
		9月	大規模改修（屋根・外壁・トイレ・照明・給排水設備等）
	28年	4月	7学級編制（特支③～知的・情緒・言語、単式②、複式② 児童数38名）
	29年	4月	8学級編制（特支④～知的・情緒・言語・肢体、単式②、複式② 児童数37名）
		7月	玄関スロープ設置 六連鉄棒更新
	30年	4月	8学級編制（特支④～知的・情緒・言語・肢体、単式②、複式② 児童数37名）
		10月	町へき地複式校研究大会の会場校として授業公開 滑り台設置
	31年	4月	7学級編制（特支④～知的・情緒・言語・肢体、複式③ 児童数32名）
令和	元年	9月	ジャングルジム更新、シーソー新設
	2年	4月	7学級編制（特支④～知的・情緒・言語・肢体、複式③ 児童数33名）
		9月	うんてい更新、感染症対策による環境整備
	3年	4月	7学級編成（特支④～知的・情緒・言語・肢体、複式③ 児童数33名）
			児童用一人一台端末運用開始
		10月	町へき地複式校研究大会の会場校として授業公開
	4年	4月	7学級編成（特支④～知的・情緒・言語・肢体、複式③ 児童数31名）